

ふるさと読本発刊

ふるさと読本第一集は、平成十三年十月八日、当時の社教委員長であった石川保夫さん、ふるさと読本の提唱元である六ツ美西部小学校教諭の船越学さん中心に、地域で関心のある有志が集まり、編集委員会を組織して六ツ美西部の過去と現在を後世に伝えようと、苦勞をかさねつつ八年の歳月をかけて平成二十一年四月に「ふるさと六ツ美西部」が出版の運びになりました。

第二集は、第一集の姉妹編として目で見える写真集として、編集委員会を設置して五年の歳月を経て平成二十七年三月に「六ツ美西部写真史」を発刊しました。

編集に携わった皆さま方にはご苦勞をかけたましたが、とりわけ横山茂氏は第一集・第二集ともに編集長を務めていただき献身的且つ精力的に取り組んでいただきました。

第一集の出版祝賀会（平成21年8月1日）



ふるさと読本に感激

八田 政弘

本屋さんで、ふるさと読本を見たとき、涙が出てきました。九十歳を超えた編集委員長の横山茂さんを中心に、月一回編集委員会を積み重ねて十五年、その成果がここにあると思うと二十数名の編集委員の顔が浮かんできました。この本を手にする皆さんが、ふるさとの歴史や現状を知り、次世代へ継ぐ一助となることを期待します。



悠紀の里に展示されたふるさと読本他